

木場潟公園の平成30年度管理状況

施設所管課	土木部公園緑地課
施設管理者	公益財団法人 木場潟公園協会
指定期間	平成30年4月1日～平成35年3月31日
中期経営目標 (H30～H34)	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者数を5年間で5%増加させます。 ②利用者アンケートによる満足度95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフ場の整備・運営により、市内外からの利用者が増加 ・健康運動（ウォーキング、パークゴルフ、グラウンドゴルフサッカーなど）の大会開催及び各種イベント（ホタル、野鳥観察会、環境学習）の開催 ・ドッグランについては、適宜エリア、施設整備を行うとともに、「楽市楽座」「わんフェス」などのイベントを開催
② 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの告知や公園内の動植物の情報をマスコミ、ホームページ、フェイスブックなどを利用しリアルタイムに公園の魅力を発信 ・公園内にある案内表示を整備 ・小松市の広報誌、市内全域の有線放送及び民間の情報誌、インターネットによるイベント情報の提供 ・公園周辺の公共施設等にパンフレットやチラシを配布

(2) 平成31年度における取組内容の見直し等

実施内容
<p>公園利用者の増加、知名度と親しみを上げるため、イベント等の情報を広報誌やインターネットを活用して更なる情報発信を行っていきます。</p>

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H26～28 年度平均 (基準値)	H29年度	H30年度	前年度比	基準値比	H34年度 (目標値)	
(1) 利用者数 (人)	708,058人	691,067人	758,544人	109.8%	107.1%	745,000人	
(2) 貸館稼働率 (%)							
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス (%)	95.2%	92.1%	98.0%	.06ポイ	.03ポイ	95.0%	
施設の維持管理 (%)	93.7%	96.3%	96.0%	.0ポイ	.02ポイ	95.0%	

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	①天候： 好天の日が多く利用者の増加につ ながった。 ②イベント： 自主事業の参加者が増加した。	①西園地飲食施設のオープン ②カヌー競技の国際化 ③常設パークゴルフ場利用者増
貸館稼働率		

<利用者アンケート結果（平成30年通年実施 有効回答数(複数回答) 109件)>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	40.0%	58.0%	2.0%	0.0%
施設の維持管理 (%)	49.0%	47.0%	4.0%	0.0%

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	毎日
(2) 設備保守点検	遊具・・・日々点検、定期点検8月に実施 その他の施設・・・専門業者に委託 その他は、協会職員による点検
(3) 植栽維持管理	樹木、芝、園地についてその一部を専門(造園)業者に委託
(4) 警備	園内巡回(2回/日)
(5) 小規模修繕	老朽化施設、備品の更新、湿原の森木道補修、枯損木の伐採

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	①緊急時の連絡体制の確認 ②消火器等設備の設置場所再確認 ③AEDの取扱要領の再確認
(2) 個人情報の管理状況	個人情報の取扱いについて、事務局長が責任者となり年度当初及び中間期に職員に対して周知徹底している。

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
貸ボート	634	0	
シャワー	62	0	
合計	696	0	

(2) 使用料の収入実績(利用料金の収入及び減免の状況)

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
貸ボート	68.8	12	小松市主催「こまつ乗りものフェスティバル」
シャワー	6.2		
合計	75	12	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	46,678	人件費	13,629
利用料収入	75	光熱水費	4,252
その他	15,987	修繕費	3,872
		緑地等管理費	29,372
		その他	11,600
合 計 ①	62,740	合 計 ②	62,725
収支差額 ①－②	15		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
平成30年5月	西側園路沿いにある枯木、倒れる危険なので処置をしてほしい。	枯木を確認後伐採(6/1)
平成30年7月	中央園地高台の休憩所柱がひび割れていてきけんです。修理をしてほしい。	立入禁止処置(県報告済み) (ロープ張り、29.4.10、30.7.29、12.25)
平成30年11月	園路沿いで草刈作業を行う場合、歩行者に石が飛び当たると危険なので止めてほしい。	作業中、飛び石防止のためにネットを使用し作業を行う (11/1)
平成31年3月	公園内でバーベキューができないか。	公園内にバーベキュー施設が無いこと、公園内は火気厳禁であることを伝えお断りをした。(3/19)

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
平成30年7月	北園地周辺でカミツキガメ発見	県土木事務所へ報告、捕獲対応
平成30年11月	周遊園路から町内に通じる通路(坂道)にて男性転倒救急搬送	県土木事務所へ報告、県工事により手すり設置
平成30年12月	園路の段差につまづき歩行者転倒	県土木事務所へ報告、県工事により段差解消工事
平成30年12月	園内危険箇所立入禁止ロープ設置	31年1月設置完了

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進の取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境の保護と都市公園を一体化させた利用促進に努めている。 ・ 公園の話題を報道機関に提供するのに加え、季節ごとの公園の魅力をSNSを有効に活用し、利用者へ情報発信を図っている。 ・ 市役所、民間タウン誌などと協調し、幅広い世代が楽しむことのできる大会、イベントを開催・共催し利用者増を図っている。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修繕・除雪・除草等において仕様書の範疇を超えて維持管理運営をしている。
(3) 管理運営体制	C	<ul style="list-style-type: none"> ・ シルバー人材センターを活用し、人件費の削減に努力している。 ・ 光熱水費について、毎月のメーター確認を実施して無駄な費用負担を削減している。 ・ 備品等において古いものを大事に取り扱い、経費節減に努めている。
総合評価	A	工夫したイベントや積極的な情報発信の実施、経費の節減や修繕を行い、利用者の増加・満足度を上げている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項